

代表質問※(要旨)

農産物や加工食品の輸出拡大 議員 拡大する世界の食市場に

議員 知事は、就任から間もなく7年が経過し、2期目の任期も残すところ1年となった。これまでの県政運営を振り返り、どのように評価しているのか。

知事 就任以来、急激な人口減少をはじめとした時代の大きな変革期を見据え、一貫して「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の3つの基本姿勢を徹底し、先手先手で、困難な政策課題に取り組んできた。その結果、成長産業や本社機能の立地による新たな投資と魅力的な雇用の場の創出や、農産物の輸出拡大、医師確保など多くの成果を出し、本県の魅力や潜在力の高さを国内外に示すことができた。

県政運営



村上 典男 議員
いばらき自民党
笠間市選出



令和5年10月に開催された茨城県フェア(米国・ニュージャージー)

向けて、新たな販路の開拓や、需要の創出につながる輸出は大きな可能性を秘めていると考えられる。農産物や加工食品のさらなる輸出拡大についての所見は。

知事 さらに輸出拡大には、農産物や加工食品の特長、海外市場のニーズを分析した上で、事業者の拡大ときめ細かな支援、積極的な販路拡大を進めることが必要である。このため、今年度は組織再編により輸出促進の体制を強化し、事業者の拡大と支援、現地ニーズに基づく品目選定や商品改良、新市場の開拓などに取り組んでいる。今後とも輸出に挑戦する事業者を積極的に支援し、輸出拡大を進める。

医師の確保 議員 医師不足と二次保健医療 圏間の医師偏在の解消といった 課題を抱える本県にとって、地

議員 医師不足と二次保健医療圏間の医師偏在の解消といった課題を抱える本県にとって、地

知事 昨年度の狩猟免許取得者は、60歳以上が約6割を占めていることから、若者などをはじめとした新規取得者の獲得は重要な課題である。このため、狩猟の魅力セミナーを開催し、狩猟を始めるきっかけづくりを進めるとともに、射撃シミュレーターを活用した狩猟の模擬体験や女性狩猟師からの助言など、コンテンツの充実に力を入れてきた。こうした取り組みなどにより、免許取得者に占める20代から40代の割合や女性の取得者が増加した。今後とも、取り組みを一層充実させていく。

狩猟者の確保

議員 農作物の被害を抑えるため、捕獲対策の強化が必要だが、狩猟者の高齢化などにより将来的な担い手不足が懸念されている。将来に向けた安定的な狩猟者の確保についての所見は。

知事 昨年度の狩猟免許取得者は、60歳以上が約6割を占めていることから、若者などをはじめとした新規取得者の獲得は重要な課題である。このため、狩猟の魅力セミナーを開催し、狩猟を始めるきっかけづくりを進めるとともに、射撃シミュレーターを活用した狩猟の模擬体験や女性狩猟師からの助言など、コンテンツの充実に力を入れてきた。こうした取り組みなどにより、免許取得者に占める20代から40代の割合や女性の取得者が増加した。今後とも、取り組みを一層充実させていく。

不登校児童生徒への 支援の在り方 議員 不登校の児童生徒数は、 増加しており、教育現場の大き な課題である。県内の小中学校 における不登校児童生徒への支 援の在り方についての所見は。

議員 不登校の児童生徒数は、増加しており、教育現場の大きな課題である。県内の小中学校における不登校児童生徒への支援の在り方についての所見は。

知事 域枠の制度は、実効性があると考えている。これまでの成果は、域枠に進めた結果、今年度の地域枠は全国トップクラスの11大学70名まで拡大した。既に約220名の地域枠修学生が、医学部を卒業し医師として活躍している。医師不足地域での従事義務を臨床研修修了後に限る条例改正も行ったため、今後、地域偏在の是正が進んでいくものと考えている。

域枠の制度は、実効性がある と考えている。これまでの成果は、 域枠に進めた結果、今年度の地 域枠は全国トップクラスの11大 学70名まで拡大した。既に約2 20名の地域枠修学生が、医学 部を卒業し医師として活躍して いる。医師不足地域での従事義 務を臨床研修修了後に限る条例 改正も行ったため、今後、地域 偏在の是正が進んでいくものと 考えている。

令和6年度補正予算関係 ◆令和6年度補正予算関係 ○一般会計補正予算 ○港湾事業特別会計補正予算 ◆条例の制定 ○茨城県特定金属類取扱業に関する条例 ◆条例の一部改正 ○茨城県条例の一部を改正する条例 ○茨城県地方活力向上地域等における県税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例 ◆人事 ○教育委員会委員の任命について ◆報告 ○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について ◆その他 ○県有財産の取得について

議員 不登校の児童生徒数は、増加しており、教育現場の大きな課題である。県内の小中学校における不登校児童生徒への支援の在り方についての所見は。

知事 域枠の制度は、実効性があると考えている。これまでの成果は、域枠に進めた結果、今年度の地域枠は全国トップクラスの11大学70名まで拡大した。既に約220名の地域枠修学生が、医学部を卒業し医師として活躍している。医師不足地域での従事義務を臨床研修修了後に限る条例改正も行ったため、今後、地域偏在の是正が進んでいくものと考えている。

今定例会で可決された議案など 議員提出 ◆条例の一部改正 ○茨城県性暴力の根絶を目指す条例の一部を改正する条例 ◆意見書 ○地方議会の本会議へのオンライン出席を可能とする法改正等を求める意見書 ○社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書 ○教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書 ○防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書

校内フリースクール研究事業として、モデル校を設置し、一人一人のニーズに応じた学習・生活支援を行う取り組みを進め、その成果を市町村に広めた結果、多くの市町村で設置が進んで

た。これらの取り組みなどを通じて、多様な学びの場や居場所の確保と充実に努めていく。(ほかに、少子化対策、労働者の確保なども質問)

※意見書および請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/tayori202410.pdf/ikensyo.htm>

● 質問者
9月9日(月) 村上 典男 (いばらき自民党)
9月10日(火) 八島 功男 (公明党)
二川 英俊 (国民民主党)

こちらから録画映像でご覧になれます。
https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=169

第3回定例会の 主な日程

令和6年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 9月4日(水) **本会 議**
(開会、知事提出議案説明)
- 9月9日(月) **本会 議**
10日(火) (代表質問・質疑)
- 9月11日(水) **本会 議**
12日(木) (一般質問・質疑)
13日(金)
17日(火)
- 9月19日(木) **常任委員会**
20日(金)
- 9月24日(火) **本会 議**
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 9月25日(水) **予算特別委員会**
- 9月26日(木) **決算特別委員会**
- 9月27日(金) **交通政策・物流問題
調査特別委員会**
- 9月30日(月) **県有施設・県出資団体等
調査特別委員会**
- 10月1日(火) **本会 議**
(委員長報告、採決、閉会)